

令和3年度教育課程研究集会
中学校 社会

社会科の指導におけるICTを活用 した学習活動の充実について

令和3年8月

奈良県教育委員会事務局学校教育課 義務教育係

指導主事 野瀬 彰

本日の内容

1 社会科の指導と学習過程

2 ICT活用の実践発表

田原本町立北中学校 中島 駿先生

3 まとめ

育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

何を理解しているか
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力、判断力、表現力等

三つの柱に沿った資質・能力を育成するために、どのような学習活動が必要か。

三つの柱に沿った資質・能力を育成するためには、**課題を追究したり解決したりする活動の充実**が求められる。社会科においては従前、小学校で問題解決的な学習の充実、**中学校で適切な課題を設けて行う学習の充実**が求められており、それらの趣旨を踏襲する。

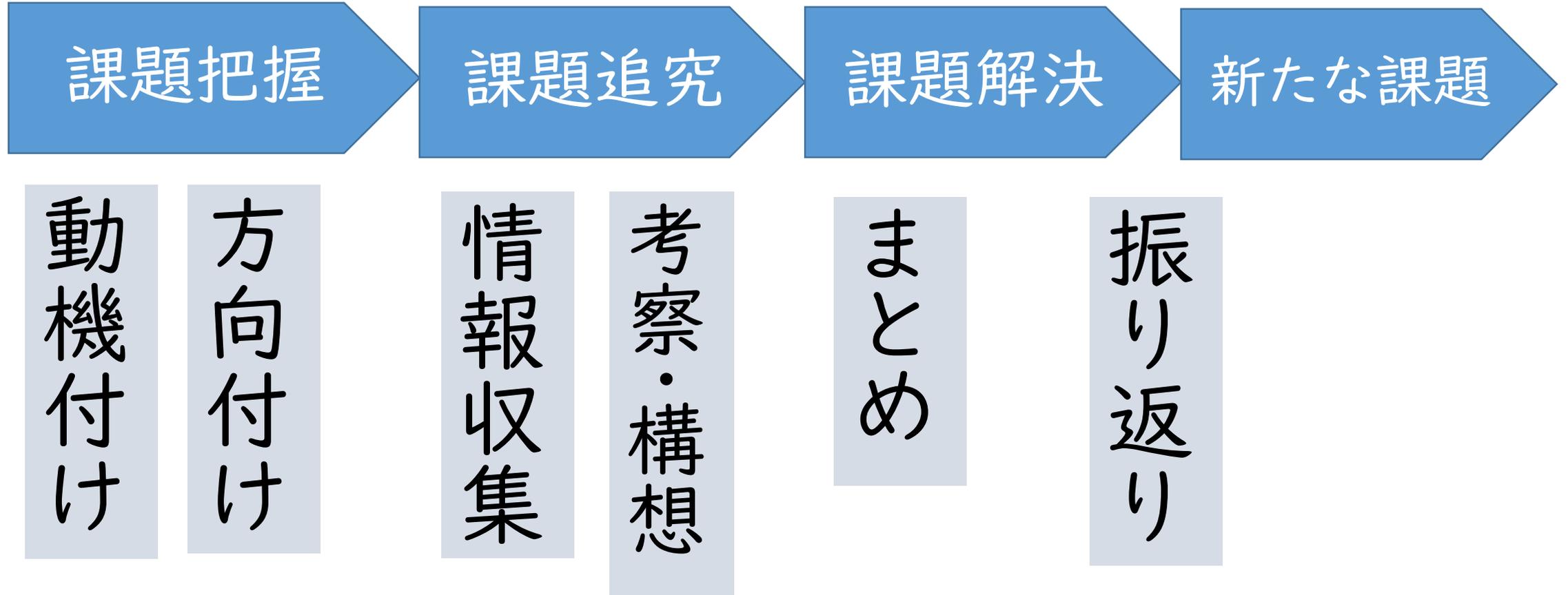
(中学校学習指導要領 解説 社会編 P12)

課題を追究したり解決したりする学習活動には、どのような学習過程が考えられるか。

そうした学習活動を充実させるための学習過程の例としては、大きくは課題把握、課題追究、課題解決の三つが考えられる。また、それらを構成する活動の例としては、動機付けや方向付け、情報収集や考察・構想、まとめや振り返りなどの活動が考えられる。

(中学校学習指導要領 解説 社会編 P12)

学習過程のイメージ



主体的・対話的で深い学び

中学校学習指導要領 社会 内容の取扱いについての配慮事項

情報の収集、処理や発表などに当たっては、学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に調べ分かれようとして学習に取り組めるようにすること。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、情報モラルの指導にも留意すること。

中島 駿先生の実践発表

【考えていただきたい視点】

- どのような学習過程で活用しているか
- ICTを効果的に活用しているか
- 自分ならどのように活用するか

中島先生の実践より

①課題解決的な学習の中で生かしている

- ・学習場面を構造的に設定し、ねらいをもって活用している

②ICTの効果的な活用

- ・資料の加工が容易

- ・資料が見やすい
- ・自宅でも活用できる

- ・意見交換が瞬時に行える

- ・課題回収が容易になる

今日のまとめ

- 課題解決的な学習の中で、ICTを活用する
- ICT活用が効果的であるかどうかを吟味する
- 社会科の学習活動の充実を目指し、ICT活用の工夫しましょう